

## 令和2年度 日本大学認定こども園 自己評価票

### 〔本園の目指すこども園像〕

日本大学教育理念である「自主創造」に基づき、「のびのびと自己を発揮し、人と共に生きる子ども」を育てていく事を目指し、子どもの意欲や興味、関心、好奇心、探求心などの心情、考える力、学ぶ力を豊かに育てていく。

### 〔本園の特長及び課題〕

日本大学認定こども園は、幼保連携型認定こども園である。幼児期の学校教育を担ってきた幼稚園と、養護・保育を主とした保育所機能を一体化して「質の高い教育・保育」を提供するとともに、子育て支援を軸とした、地域を支える機能をも発揮していかなければならない。

### 令和2年度の取組結果

#### 〔概況〕

- ・ 設立4年目、0歳児から5歳児までの園児189名が在園し、活気に溢れるこども園である。コロナ禍でのスタート、そして5月の休園措置、6月の再スタートとなった。新型コロナウイルス感染予防のため、様々な行事や活動の中止・変更を余儀なくされた。その中でも本園が目指す「質の高い教育・保育計画」の実現に努め、子どもたちの健康な心と体と健やかな成長を確認することができた。
- ・ 在宅で子育てをしている方を対象に、地域への子育て支援の一環として「おでかけひろば」を開始する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため行うことができなかった。来年度、内容や環境を工夫し実施を目指したい。
- ・ 利用者が乳幼児ということで、日々の保護者対応は丁寧に行い、子どもの姿や成長を伝えている。また、例年は保護者会や保育参観を通し、子どもたちの成長や園の目指す所を伝えてきたが、新型コロナウイルス感染予防のためそれらが全て中止となった。そこで、子どもたちの活動の様子を写真に撮り、説明や育ちのコメントを付けた「ドキュメンテーション」を作成し保護者に配布した。園の教育・保育の理解と信頼へつなげることができた。
- ・ 特別教育「運動・英語・リトミック」は子どもたちが楽しんで学ぶことができた。保護者や入園のための見学者（令和2年度はWebで園を紹介）からは、高評価で入園希望につながっている。

#### 教育課程・指導

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
学びの芽生えを身に付ける	実のなる木や、多くの虫が集まる草花を植え、季節感あふれる園庭環境を充実させた。子どもの好奇心や探求心を刺激し主体的に環境に関わり遊び、豊かな感性や他者との関わりを育むことにつなげた。昆虫や草花に興味・関心をもち観察し、子どもたちの「もっと知りたい」につながった。	A
豊かな人間性を身に付ける	様々な体験・行事等の教育・保育を通して非認知能力を育てることを目指してきた。根気強く、意欲を持って物事に取り組み、友達と協力し合う姿や、相手の痛みを心配する気持ちにつながった。	A
健康・体力を身に付ける	衣服の着脱、手洗い、うがい、食事、排せつ等、子どもの発達や個人差に合わせ基本的な生活習慣が身に付くように日々丁寧に繰り返し指導した。また、戸外・室内での遊び・教育の中に、運動をバランス良く取り入れ、体力増加につながった。	A

## 園生活への配慮

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
試食会	新型コロナウイルス感染予防の観点から、保護者向けの試食会は行わなかったが、給食の展示のほか、掲示板で季節の食材や献立、栄養等の話題を紹介した。子どもはもちろん、保護者の理解に大いにつながった。	B
安心・安全な環境と教育保育	今年度は新型コロナウイルス感染予防をいかに徹底していくかが大きな課題であった。子ども、保護者、保育者の健康管理の徹底、大人のマスク常時着用、園内や玩具の定期的な消毒、食事時、午睡時の工夫等を行った。濃厚接触者がでた場合には、速やかに正確な情報を収集、整理し、関係機関と連絡を取りながら適切な対応を行うように準備をした。 子どもたちが非常時に備えられるよう、毎月の避難訓練と年2回の不審者訓練を実施した。 保育室や園庭の安全チェックを毎月実施し、異常を迅速に見つけ改善につなげた。	A
四季や日本古来の伝統行事を楽しむ	日本の伝統的な文化・行事を積極的に教育・保育に取り入れ、制作、歌、食事、表現活動を楽しんだ。1年を通し四季を感じられる自然のある園庭にするため、定期的に手入れをしたり、園児たちと花を植えたりなど計画的に行った。	A

## 情報提供・管理

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
保護者への丁寧な情報提供	災害や感染症など緊急かつ正確性を要する案件について、利用者へ掲示、メール配信を行った。教職員は日々の昼令で情報共有を行った。また、「園だより」や「クラスだより」を毎月配布し、園の活動状況など伝えた。	A
ホームページ	園に関心のある多くの方が見ているホームページは定期的に更新し、こども園の取組や案内等を配信した。新型コロナウイルス感染予防対策として、入園説明会はWeb配信とし、200名以上の方々に視聴していただいた。	A

## 管理運営

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
教員の意識向上を図る	日本大学認定こども園教職員ハンドブックによる基本的事項の提示、面談を通じた各自の自己目標に基づく取組の振り返り、記録類への指導等を通して、教員一人ひとりの成長を促した。0歳から5歳までの一貫した教育・保育のために毎月カリキュラム反省会議を行い、こども園として共通目的や共通認識を確実にした。	A
本学学生との交流	新型コロナウイルス感染予防のため計画のみで終わった。	C
安全対策	受診を伴う怪我（事故報告）、怪我につながりそうな要因（ヒヤリハット）は、原因、対応策を明確にした後、受診内容等も含め詳細に記録し、教員間で共有した。	A

## 保護者との連携・子育て支援等

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
保護者参加行事の見直し	新型コロナウイルス感染予防の中での行事をいかに実施していくか、見直しを行った。子どもにとって意味のある行事や保護者に子どもの成長と園の方針を見	A

	て、理解して頂くため、学年別、クラス別にするなど密を避け、消毒を行うなどの工夫をし実施した。その結果、子どもの成長や、園の目標を保護者と共有することができた。	
第三者評価を生かす	新型コロナウイルス感染予防のため、利用者の意見を園運営に生かすのは難しい面があったが、開園して初めての世田谷区一般指導検査では、高い評価を受けた。	A
個人面談	保護者からの相談には迅速に対応、面談を行った結果、共通の認識を持ち、子どもの成長など情報共有や信頼関係構築につながった。	A

#### 地域との連携

取組目標	取組結果・進捗状況	達成状況
近隣小学校との交流	新型コロナウイルス感染予防を考慮し計画のみで終わった。	C
近隣との交流	新型コロナウイルス感染予防の中で限られた交流となった。芋ほり遠足で収穫したさつまいもを近隣へ配り、日頃の感謝を伝えた。日頃の挨拶はもちろん、園の情報を伝えるために訪問を適宜行った。	A
保育ネット世田谷	災害時等の非常事態の時に備えて、避難体制や日頃の情報の共有を行った。私立園長会の「となり組」と称する近隣園とはリモート会議を月1回行った。教育保育面、コロナ対応などの情報交換を園の運営に生かした。	A

※【A達成できた、B大体達成できた、Cあまり達成できなかった、D達成できなかった】

#### 令和3年度の取組目標及び方策

##### 教育課程・指導

取組目標	取組方策	取組スケジュール
学びの芽生えを身に付ける	子どもが興味・関心をもって主体的に遊びたくなる環境を作り、学びの芽を育てていく事を目指す。	通年
豊かな人間性を身に付ける	動植物の世話や観察を通し、命を大切に思う気持ちを育てる。また、様々な活動や行事を通し、感情体験・気持ちのやり取りと共感を大切にすることで、子ども同士の関わりを深めることを目指す。	通年
健康な身体づくり	衣服の着脱、食事、排泄、片づけ等生活に必要な基本的な生活習慣を身に付け、各年齢の発達の特徴に沿って身の回りのことを自分で行えるようになることを目指す。身体を思いっきり使った遊びや、運動を積極的にを行い健康的な身体と体力作りを目指す。	通年

##### 園生活への配慮

取組目標	取組方策	取組スケジュール
安心・安全な環境と教育・保育	感染予防対策の徹底を図る。午睡時のチェックや食事など安全な環境での提供に努める。	通年
伝統や四季を感じる行事と環境工夫	日本古来の伝統行事を制作や表現を子どもたちが楽しめるよう教材の工夫、行事の工夫をする。四季を感じる園庭の環境作りに努める。	通年
食育	感染予防対策を図り、皆で一緒に食べる楽しさを味わうような環境作りに努める。季節の食材や行事食を取	通年

	り入れ豊かな食文化の環境を目指す。	
--	-------------------	--

#### 情報提供・管理

取組目標	取組方策	取組スケジュール
保護者への情報提供と共有	災害や感染症など緊急かつ重要な案件について、保護者と教職員双方に速やかに、適切な情報提供を行うことを徹底する。	通年
ホームページ	定期的な更新を行い、園の取り組みや情報を発信していく。	通年

#### 管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
教員の意識向上の徹底	教職員ハンドブックや職員会議, カリキュラム反省会議, 学年会議, 日々の指導を通して, こども園の目的や施策内容等の共通認識を促進していく。教職員一人ひとりの意識向上を図る。	通年
本学学生との交流	豊山女子高校からの体験学習生と交流を図り, スケールメリットを生かした活動を行う。	7・8月
安全対策	子どもの安心・安全を最優先に, 事故や怪我を未然に防ぐ。感染症対策, 衛生・健康面の管理体制, 午睡時の安全チェック, 食事時の安全, 災害を想定した避難訓練などに取り組む。危機管理委員を2人とし, 園の安全対応・対策に取り組む。	通年

#### 保護者との連携・子育て支援等

取組目標	取組方策	取組スケジュール
保護者参加の行事	多くの保護者に参加してもらうよう, 日程を工夫し, 園の方針の理解と子どもの成長を共有していくことの継続に努める。	通年
世田谷区一般指導検査の結果を生かす	設立して初めて, 世田谷区一般指導検査を受けた。指導・指摘内容を, 園運営に生かしていく。	通年
個人面談	保護者と園が共通の認識を持ち, 子どもの成長を見守り, 促すために個人面談を行う。	通年

#### 地域との連携

取組目標	取組方策	取組スケジュール
近隣小学校との交流	幼児期と小学校入学において, 育ちと学びをつなげ, 連続性のある滑らかな接続ができるよう交流・連携する。	2・3月
近隣との交流	梅ジュースや芋ほり遠征で収穫したさつまいもを子どもたちが配り, 近隣への感謝を伝える機会とする。	6・10月
保育ネット世田谷	災害時等の非常事態の時に備えて, 避難体制や日頃の情報共有を行っていく。共に同じ目線で学び合う。	ネット会議 年4回 となり組会議 年2階

## 中長期的目標及び方策

### 子育て支援

取組目標	取組方策	取組スケジュール
地域子育て支援拠点事業及び子育て相談事業の実施	週2回の予定で実施。在宅で子育て中の親子, 出産を控えている方が遊びに来られる場所の提供をしていく。	通年

### 地域との連携

取組目標	取組方策	取組スケジュール
良好な関係づくり	近隣の意見に耳を傾け, できること, できないことへの対応を説明し, 常により良い信頼関係を築いていく。	通年

### 管理運営

取組目標	取組方策	取組スケジュール
人的面での保育の質の向上	非常勤の確保に努め, 幼児クラス各25名を複数で担当できるようにする。怪我や事故の軽減と質の高い保育に努めたい。	通年